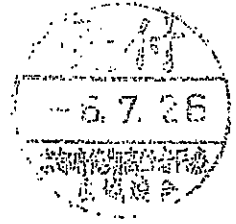


請願第3号



京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の
引き下げなど、制度の改善に関する請願書

紹介議員

玉本 ひろみ

京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の引き下げなど

制度の改善に関する請願書

請願の趣旨

- 1 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担を引き下げること。
- 2 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の減免制度、傷病手当金制度の新設・拡充をすること。
- 3 後期高齢者が健康で自分らしい生活を維持できるように、健康診査項目の充実、健診補助制度の新設・拡充を行うこと。

請願の理由

みずほリサーチ&テクノロジーズは、2022年度から24年度の3年間の物価高騰により1世帯あたり28万円の負担増との試算を公表しました。なかでも高齢者は、さらに厳しい状況です。また、新型コロナウイルスによる感染は、いまだ終息せず、新たな変異株の感染も広がり、重症化しやすい高齢者は不安を抱えています。

国は、2022年10月から一定所得以上の後期高齢者の窓口負担割合を2割負担とし、2倍に引き上げ、さらに75歳以上の約4割の方が今年と来年、段階的に保険料が引き上げられます。全国保険医団体や厚労省の調査でも「2割」の負担増による受診控えが明らかとなっています。高齢患者の重症化が心配です。

物価高で厳しい生活を強いられている高齢者はじめ、だれでもお金の心配なく医療を受けられる制度が必要です。全国後期高齢者医療広域連合協議会も国にたいして、国による財政支援の拡充を毎年要望していますが、緊急に保険料の引き下げ、減免制度の拡充が必要です。

また、後期高齢者医療制度では休業に関する給付制度がありません。少ない年金では暮らしていけないからと75歳を過ぎて働いている被保険者は少なくないという状況を踏まえると、他の社会保険と同様に傷病手当金給付の仕組みをつくるべきです。

さらに、特定健診や保健指導が健康年齢を引き上げ、医療費の抑制にも効果があることが厚労省などの調査で明らかになっています。糖尿病・心臓病・脳卒中などの生活習慣病の発症や重症化を未然に防ぐために、健診項目（胸部レントゲン検査・心電図・聴力検査・歯科健診など）の拡充、脳ドックなどへの補助制度が必要です。

2024年7月26日

京都府後期高齢者医療広域連合議会議長

下村 あきら 様

請願者 住所 京都市中京区生年仙念町30-2ラポール京都6F
氏名 京都社会保障推進協議会議長 渡邊 賢治



電話 075-801-2526

2024年7月26日

上京区翔鸞学区・後期高齢者（75歳以上） 暮らしのアンケート結果

年金支給額平均月 84,750 円、暮らしが苦しく
なった 44%、現在の年金もっとあげて 85%

京都社会保障推進協議会
高齢者プロジェクト

1 訪問日時・場所

2024年7月22日 上京区翔鸞学区

物価高、医療・介護保険の引き上げなどで厳しい状況に置かれている地域の高齢者の暮らしの状況を知ることが目的に13人の調査員が34件高齢者のお宅を訪問した。

2 調査結果の概要

訪問した時間が平日の午後だったこともあり、回答者の75%が女性。年代は、平均年齢81.2歳。内訳は、70歳～79歳が47%、80歳代が44%、90歳代が3人の9%だった。地域柄もあり、同居の高齢者が68%と多い。

暮らし向きをお聞きすると、昨年よりも「苦しくなった」が44%もおられた。「変わらない」と答えた方も自由記述欄などで生活の厳しさを訴えている方も少なくない。暮らしが厳しくなった原因は、1位は「医療保険」36%、2位「電気代」32%、3位は「物価高」26%となった。医療保険料の高さが生活に影響を与えている。

現在の年金額の平均は、84,750円で、1ヶ月の生活費としてはかなり厳しい状況に置かれている。85%の方が「もっと上げて欲しい」と答えており、年金の引き上げは急務である。

回答された85%の方が「通院」しており、半数以上の方は「医療費の負担はいまのところ大丈夫」と答えているが、中には月数万円以上の医療費がかかっているかたもおられる。

介護保険サービスを利用しているのは8人(23.5%)にとどまり、76%の方が利用していない。多くは、「元気で必要ない」と回答されている。平均80歳を超える方々が介護サービスを利用しないままに元気で生活できていることは喜ばしいこととはいえ、予防のための介護サービスを利用できているのか、必要な介護サービスがきちんと広報されているのかなど、利用率の低さが気になる。

地域で必要なものをお聞きすると、第1位は「特養・デイ」、第2位が「身近な医療機関」と「気軽に買い物できるお店」となった。介護サービスはいまは必要ないが、これからもっと年を重ねると介護サービスや医療機関が身近に欲しいということだと思われる。また、「スーパーまで大通りを横断しないといけないから近くのコンビニで買い物する」と言う

方もおられた。身近な場所で買い物できるお店が少なくなっている。また、公園や図書館、コミュニティセンターを求める声も多い。

3 総括

翔鸞学区を訪問し、玄関を開けると古い織り機が置いてあり、歴史ある西陣の町並みに出会う。ここで暮らしている高齢者の生活といのちを支えるためには、暮らしを支える年金制度の改善、医療や介護の制度の改善が必要だ。さらに高齢者・市民の声を集約し、いつまでもその人らしく暮らしていけるための町づくりを進めていくことが必要だと考える。

4 訪問した際の高齢者の声

終活のお願いをしている

仕事をしている。年金だけでは生活できない

認知症のためよく分からない。家族は近くにいる

癌で泌尿器科にかかっている月4万円医療費がかかる。妻は特養に入所中

医療費もっと安くして。買い物は近くにお店なく、コンビニで買う

年金上げて欲しい。介護を使うようになったら困る

生活費と年金が不安 夫は脳梗塞 ヘルストンに通っている

自分のかけた年金やからもっと引き上げて

生活費は弟に援助してもらっている。足が痛い。頭が痛い。後期高齢は1割負担だが医療費高い

高齢になって心配

ひとり暮らしが不安

いまは夫婦元気だが、80歳近く、いつ倒れるか、病気になるか、老老介護への不安がある

食事が作れない、相談する人が欲しい、明日から入院だが減免の方法が分からない
オレオレ詐欺が心配

オレオレ詐欺が心配 食事作り、買い物がしんどい、家をバリアフリーにしたい 医療費は高くして生活を圧迫している 必要なものは仕方ないが、だれでもどこでも受けられる医療を求む

医療費高い コロナが心配

今のうちはなんとか元気にしているが…

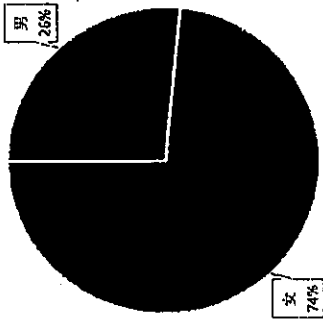
オレオレ詐欺が心配

不審者が入ってくるか心配 郵便局の人が家の奥まで入ってきて戸を開けられた 母が亡くなって淋しい 寂しくて救急車を呼んだことも 保険を15年かけて毎年50万円返ってくるからなんとか暮らしている 舌がんの時の医療費は高かった!

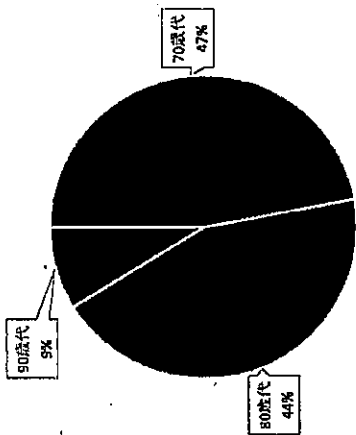
身体がしんどい 買い物は生協を利用している 今の所は比較的便利な場所 タクシーが少なくなった

以上

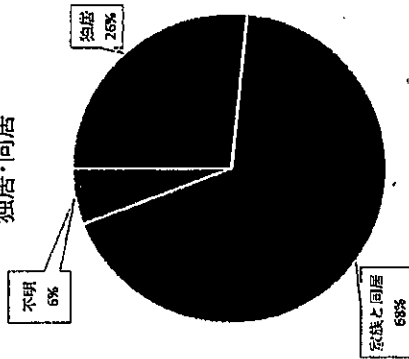
性別



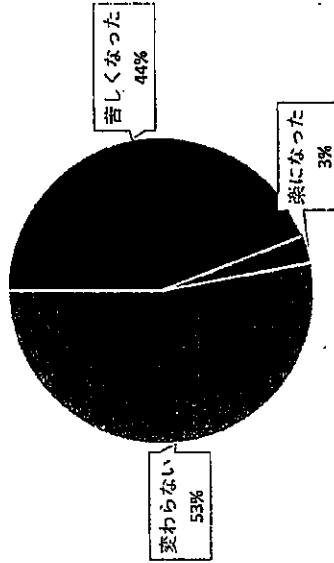
年代



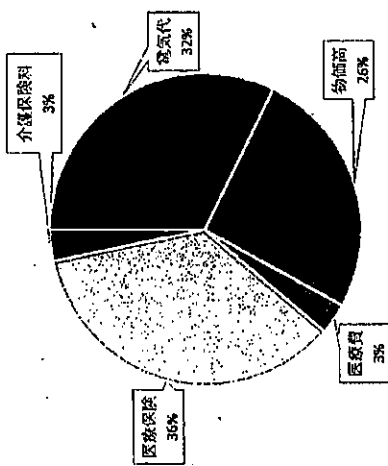
独居・同居



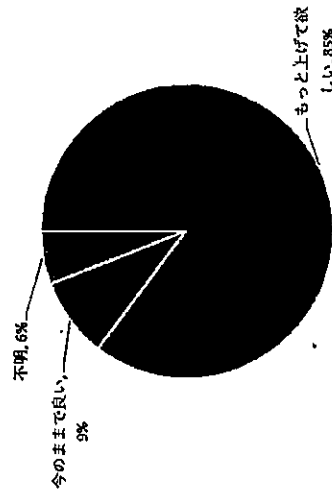
暮らし向き



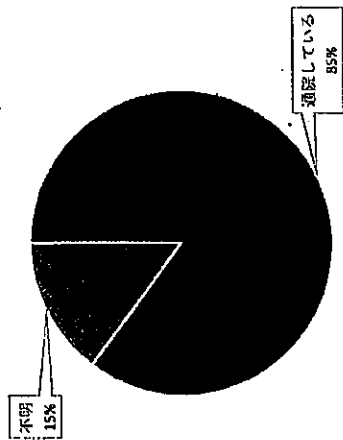
暮らし向きが苦しくなった原因



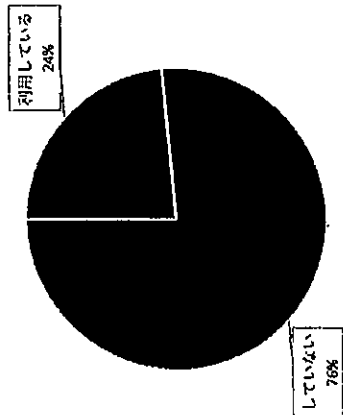
現在の年金額



現在通院をしているか？



介護保険サービスを利用しているか



地域で必要なもの

